

LLDA 研修について（2009年4月18日～25日）

依頼機関：フィリピン ラグナ湖開発公社（LLDA）

環境天然資源省所管の政府に準じる団体。

ラグナ湖（下地図参照）の流域管理や水質汚濁防止策、開発の許認可を行っている。

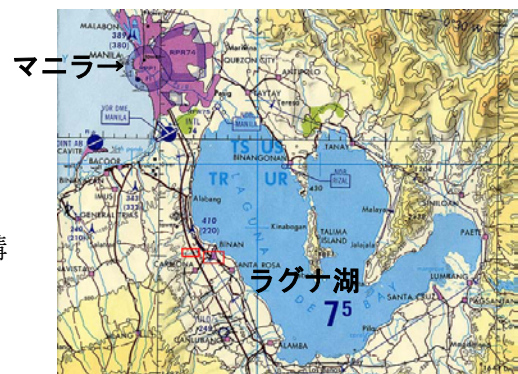
研修目的：下水処理施設が満足になく、工場、家庭排水がラグナ湖に垂れ流しになっている状況を解決するため、民間活力を最大限活用したプロジェクトの構築方法を模索するもの。

受入機関：下水道グローバルセンター（GCUS）

事務局 JSWA

役割分担：受入手続き及び 20, 24 日→水資源機構

21 日～23 日→GCUS



研修メニュー（案）：

	午前	午後	
4月 20日 (月)	水機構表敬 ・水資源機構の概要 ・ LLDA の役割と直面している問題（担当：水機構）	水資源機構における湖沼の水質保全対策（琵琶湖、霞ヶ浦） （担当：水機構）	
21日 (火)	日本の下水道の歴史 法整備、下水処理計画、集合処理と個別処理、処理方法 (GCUS)	施設見学 市野川水循環センター (OD 施設 埼玉県滑川町)	
22日 (水)	下水道の財政、処理技術 (GCUS)	民間受託会社からみた民間委託の現状 (日本下水道処理技術管理業協会)	PFI 事業について (未定)
23日 (木)	施設見学 (PFI 事例：横浜市北部汚泥資源化センター 消化ガス発電、改良土プラント、処理場：横浜市北部第二水再生センター)	滋賀県に移動	
24日 (金)	淀川流域における総合水資源管理、琵琶湖の管理 (担当：水機構)	現地視察	

